

幸せって 何だろう

校長 高田 晶子

保護者・地域の皆様方には、ご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。令和3年新たな年がスタートいたしました。旧年中は元郷中学校のためにご支援賜りましたこと厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。



さて、コロナ禍の終息を願うばかりです。「だいじょうぶ。未来は元気だよ。」とマスク姿のドラえもんが校長室扉の掲示板で応援してくれています。掲示を始めて一年が過ぎようとしています。TV番組「教場」主演の俳優 木村拓哉さんは、「皆それぞれのふんばり方でふんばった。トンネルの出口がまだ見えていない。お互いに、一緒に、ふんばり続けないと。」とのコメントが新聞記事にありました。そうです。お互いに、一緒に、乗り越えていかなければなりません。

次のようなコラムを見つけました。

「人は自らを幸せにすることはできないのであります。だって幸せになろうとすることは何かを期待すること。・・・あなたにもできることがある。・・・それは人を幸せにすることだ。」

そうですね。誰もが幸せな人生を望んでいて、今を振り返り、「私は幸せ」だの「なんて私は不幸なの」とか盛り上がる場面が想像できます。何かを期待していたら、他人がいつも、自分の都合よく動いてくれるなんてありえません。だから、自分はいつも失望してしまい「なんて私は不幸なの」という思いになってしまうのでしょうか。

小さな幸せを紹介します。

- 近所の人に笑顔で挨拶し、立ち話に付き合い、服を褒め、メールの返信は秒！
→ 周りの人はみんな笑顔に。
- メールでも手紙でも、返事を書くときは、「お世話になっています！ありがとうございます！」をひとこと書き添えていた。
→ 一度も返事をくれなかった相手から、転勤で最後の挨拶の時に、いつもお返事に励まされていました。」とあったそうです。

小さなことでも自分にできることをやっていくとみんな幸せになっていく。そんな思いを抱きながら今年も青空を見ながら皆さんと頑張っていこうと思います。

今年も素晴らしい一年になるようご支援ご協力よろしく願いいたします。